

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第4巻第21号

第21週(5月17日~5月23日)

発行年月日:平成16年(2004年)5月28日

発行:滋賀県立衛生環境センター内

滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

1)全数報告の感染症(1類~5類)

感染症類型	疾患名	報告数 (21週)	累積報告数		平成15年報告数	
			滋賀 (21週)	全国 (21週)	滋賀	全国 ^(*)
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	5	180	7	459
	腸チフス	0	1	26	0	60
	パラチフス	0	0	29	0	38
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1	2	378	8	2635
4類感染症	E型肝炎 ^(*)2)	0	1	8		
	オウム病	0	0	19	1	44
	ツツガムシ病	0	0	70	2	380
	レジオネラ症	0	0	34	1	143
5類感染症	アメーバ赤痢	0	4	210	3	504
	ウイルス性肝炎	0	1	110	3	634
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	62	3	115
	ジアルジア症	0	1	27	0	99
	後天性免疫不全症候群	0	3	381	8	949
	梅毒	0	2	174	2	493
	破傷風	0	1	26	1	69
	急性脳炎	0	0	25	0	98

*1:平成15年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

*2: " 感染症法の改正前のためE型肝炎のみの集計はされていません。

2)定点把握の対象となる5類感染症

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								前週との比較(定点当たり患者数)
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津	
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱	0.48	2.14	0	0	0	0	0	0.50	
A群溶連菌咽頭炎	1.36	1.71	1.00	1.00	3.00	0	0.20	3.50	
感染性胃腸炎	4.30	6.71	6.67	2.50	1.00	2.00	0	16.00	
水痘	1.82	1.43	1.33	0.25	1.20	3.00	3.20	3.50	
手足口病	0.03	0	0	0	0	0	0	0.50	
伝染性紅斑	0.21	0.14	0.33	0.25	0.40	0	0.20	0	
突発性発疹	0.70	1.57	0.33	0	0.40	0.75	0.80	0.50	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風しん	0.12	0.14	0.50	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.42	0.43	0.67	0.50	0.20	0.75	0.20	0	
麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎	0.97	0.71	0.50	0.75	0.20	2.00	2.00	1.00	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.14	0	0	0	1.00	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0.14	0	0	1.00	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	

全国集計などの詳細な集計結果は、国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)において公表されています。

0 2 4 6
定点当たり患者数

3) 今週のトピックス

咽頭結膜熱、感染性胃腸炎の発生に地域的な偏り 流行性耳下腺炎の発生は増加傾向

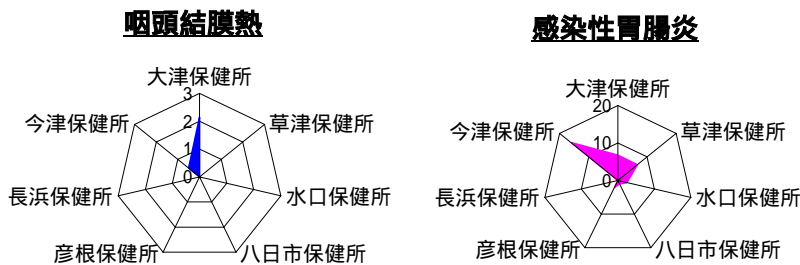
定点把握の対象となる5類感染症の発生状況は、先週(5月10日～5月16日)の報告数よりやや多くっており、咽頭結膜熱、A群溶連菌咽頭炎、伝染性紅斑、風しん、流行性耳下腺炎等の発生は先週より増加し、感染性胃腸炎、水痘およびマイコプラズマ肺炎の発生は減少しています。

咽頭結膜熱については、先週の定点当たり患者数0.45より少し多くなり0.48となっていますが、**大津保健所管内**においては2.14と多くなっています。
感染性胃腸炎については、先週の定点当たり患者数5.27より減少し4.30となっていますが、**今津保健所管内**における定点当たり患者数は16.00と多くなっています。
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)については、昨年の同時期の発生状況と比較すると今年はかなり多く増えており、**彦根、長浜保健所管内**の定点当たり患者数がやや多くなっています。
風しん(三日はしか)については、昨年の同時期の発生状況と比較すると今年は多く発生しており、今週は大津および草津保健所管内から報告がありました。

定点当たり患者数：

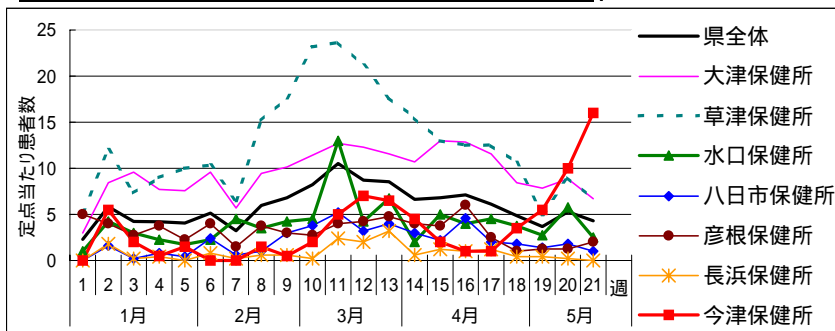
感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、一週間を単位として一つの定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。*疾患により定点数は異なります。

咽頭結膜熱、感染性胃腸炎の保健所管内別発生状況(平成16年第21週、5月17日～5月23日)



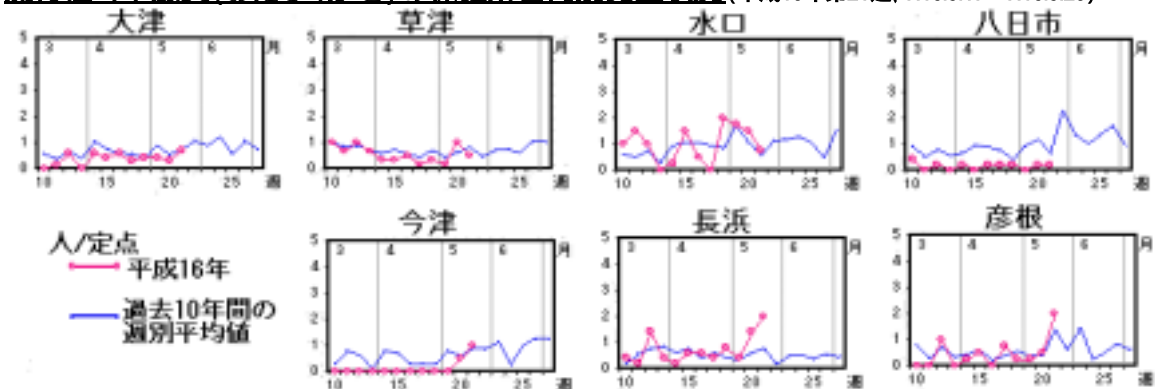
第21週の咽頭結膜熱の発生状況についてみると、大津および今津保健所管内で発生していますが、今後、他の保健所管内においても増加することが考えられますので発生動向に注意する必要があります。また、感染性胃腸炎については、今津保健所管内で多く発生しています。

感染性胃腸炎の保健所管内別・週別発生状況(平成16年第1週～第21週、H15.12.29～H16.5.23)



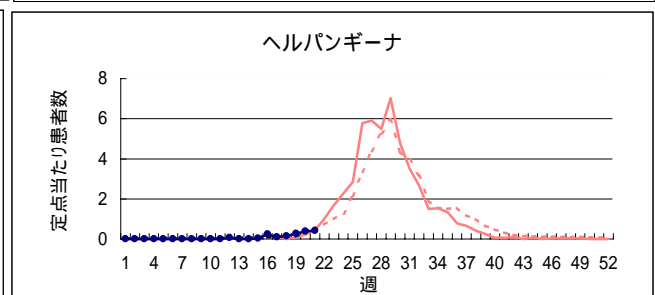
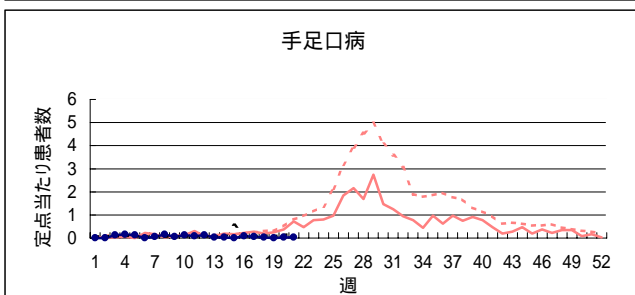
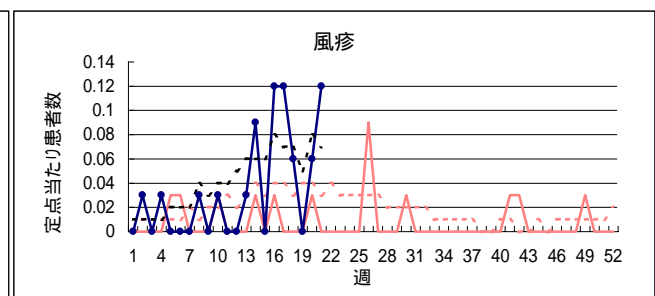
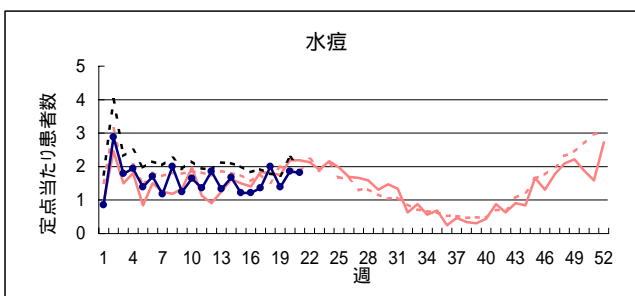
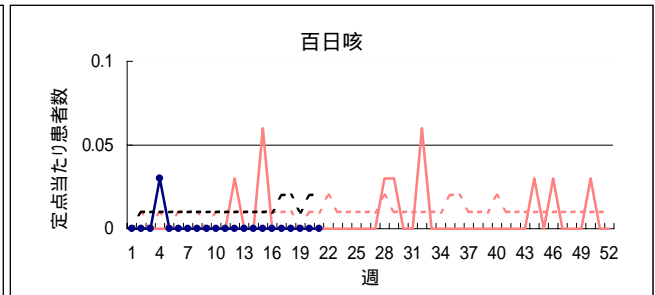
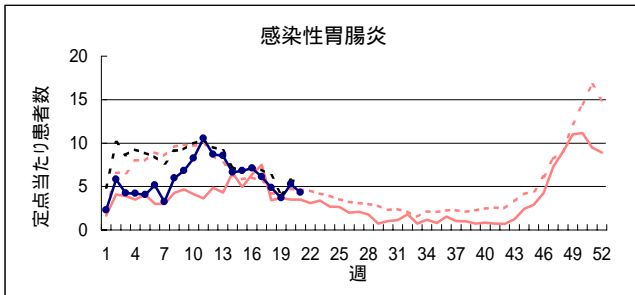
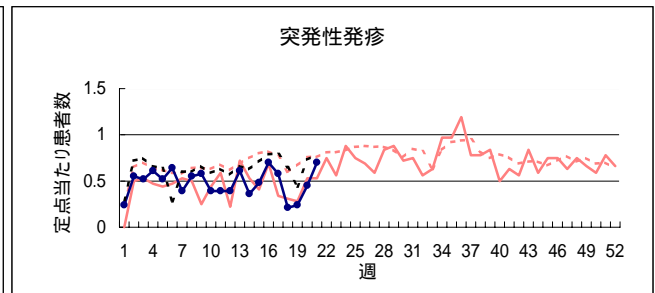
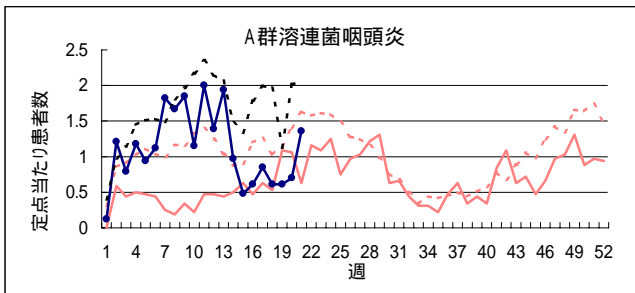
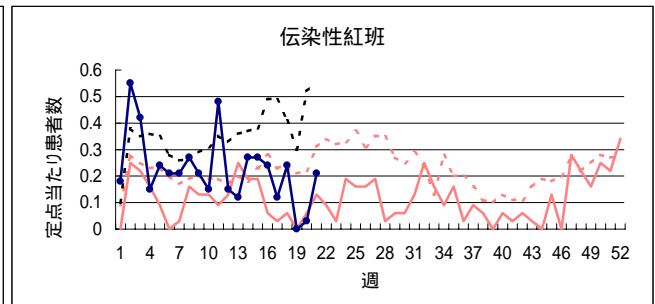
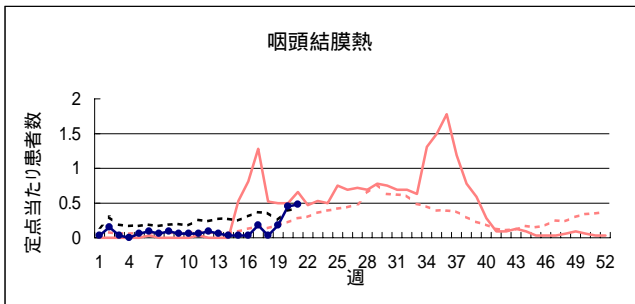
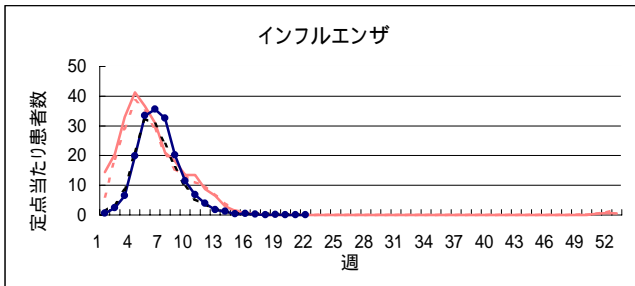
感染性胃腸炎の第1～21週の発生状況についてみると、第8～13週の各保健所管内の定点当たり患者数が多くなり、その後減少傾向を示していましたが、今津保健所管内においては第18週から定点当たり患者数が増加傾向となっています。十分な手洗いをするなどの感染予防に対する注意が必要です。

流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の保健所管内別発生状況(平成16年第21週、H16.5.17～H16.5.23)



第21週の定点当たり患者数についてみると、彦根、長浜保健所管内において過去10年間の週別平均値より多くなっています。

疾病別定点当たり患者数(平成16年第1週～第21週、H15.12.29～H16.5.23)



疾病別定点当たり患者数(平成16年第1週～第21週、H15.12.29～H16.5.23)

H15 [滋賀 ———— 全国] H16 [滋賀 ●——● 全国]

